

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ショーワ

コード番号 7274 URL <http://www.showa1.com>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 北條 陽一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部経理課長

(氏名) 安田 祐二

TEL 048-554-1151

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	48,540	△19.3	618	△73.0	1,045	△59.8	△579	—
23年3月期第1四半期	60,172	40.8	2,287	—	2,601	—	801	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,688百万円 (11.8%) 23年3月期第1四半期 1,510百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第1四半期	△7.62	—
23年3月期第1四半期	10.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
24年3月期第1四半期	158,246		84,705	43.0		
23年3月期	158,340		82,753	42.8		

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 68,106百万円 23年3月期 67,820百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	101,000	△15.0	1,000	△78.6	1,600	△58.4	△1,700	—	△22.36
通期	223,000	△4.4	5,200	△41.5	6,200	△23.1	△900	—	△11.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成23年8月1日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	76,020,019 株	23年3月期	76,020,019 株
24年3月期1Q	52,586 株	23年3月期	52,546 株
24年3月期1Q	75,967,433 株	23年3月期1Q	75,967,746 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、[添付資料]P. 3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書 第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	9
(7) 企業結合等に関する注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成23年4月1日から6月30日までの3ヶ月間)における当社を取り巻く経済情勢は、景気は、米国では、回復基調で緩やかに推移し、欧州では総じて持ち直し、アジアにおいては、中国およびインドでは引き続き内需を中心に拡大し、その他のアジア地域においては総じて回復基調で推移しました。一方、日本においては、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にありますが、景気は上向きの動きがみられます。

自動車市場においては、日本では、東日本大震災の影響による完成車メーカーの減産により、生産・販売ともに前年同期を大幅に下回りました。北米では、市場の回復に牽引され生産・販売ともに前年同期を上回り、中国、インドでは市場が拡大し、その他のアジア地域においては、市場が好調に推移し、世界全体では前年同期を上回りました。

この結果、東日本大震災の影響による主要得意先の生産および販売減を受け、経営環境は厳しい状況にある中、売上高につきましては、485億4千万円と前年同期に比べ19.3%の減収となりました。

利益につきましては、生産ラインの移管・集約による効果や徹底した費用削減等の継続展開をしておりますが、営業利益は6億1千8百万円と前年同期に比べ73.0%の減益、経常利益は10億4千5百万円と前年同期比59.8%の減益となり、四半期純損失は5億7千9百万円(前年同期は四半期純利益8億1百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

(日本)

東日本大震災の影響を受けた得意先の生産および販売減に伴い、四輪車用部品の販売が減少し、減収となりました。

この結果、売上高は220億3千9百万円(前年同期比31.3%減)となり、営業損失は15億5百万円(前年同期は営業利益2億9千9百万円)となりました。

(北米)

米国においては、二輪車用部品の販売は増加しましたが、四輪車用部品の販売は、為替換算の影響で減収となりました。カナダでは、前期末にサスペンションの小組を得意先へ返還したことなどにより大幅な減収となりました。

この結果、売上高は114億7千2百万円(前年同期比18.5%減)となり、営業損失は7千万円(前年同期は営業利益3千6百万円)となりました。

(南米)

ブラジルでは市場が堅調に推移し得意先の販売が増加したことに伴い、二輪車用部品の販売が増加し、増収となりました。

この結果、売上高は55億3千9百万円(前年同期比10.7%増)となり、営業利益は2億3千1百万円(前年同期比49.7%増)となりました。

(アジア)

インドネシア、タイでは、好調な自動車市場に牽引された得意先の販売増加により、二輪車用部品、四輪車用部品の販売が増加し、増収となりました。インドでは、得意先の好調な販売に牽引され、四輪車用部品の販売が増加したものの、為替換算の影響により減収となりました。

この結果、売上高は112億7千2百万円(前年同期比12.2%増)となり、営業利益は18億1千万円(前年同期比8.8%増)となりました。

(中国)

好調な自動車市場に牽引された得意先の販売増加により、四輪車用部品の販売が増加したものの、為替換算の影響により、減収となりました。

この結果、売上高は61億5千6百万円(前年同期比0.3%減)となり、営業利益は、4億3千3百万円(前年同期比37.3%減)となりました。

その他

その他売上高は13億6千9百万円(前年同期比36.1%減)となり、営業損失は7千万円(前年同期は営業損失3億2千万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末の総資産は、1,582億4千6百万円となり、前期末に比べ9千3百万円減少しました。

各項目別の主な要因は次の通りです。

(流動資産)

流動資産は771億5千5百万円となり、前期末に比べ30億4千5百万円減少しました。これは主に現金及び預金の減少によるものです。

(固定資産)

固定資産は810億9千1百万円となり、前期末に比べ29億5千1百万円増加しました。これは主にマシノ・オートパーツ・カンパニー・リミテッドの子会社化に伴うのれんが発生したことおよび機械装置及び運搬具の増加によるものです。

(流動負債)

流動負債は488億3千4百万円となり、前期末に比べ72億3千4百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金および短期借入金の減少によるものです。

(固定負債)

固定負債は247億7百万円となり、前期末に比べ51億8千9百万円増加しました。これは主に長期借入金の増加によるものです。

(純資産)

純資産は847億5百万円となり、前期末に比べ19億5千1百万円増加しました。これは利益剰余金などの減少はあったものの、為替換算調整勘定などの増加によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）および通期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）の連結業績予想は、東日本大震災後の得意先の生産正常化に伴う生産・販売の増加が見込まれることから、前回予想を上回るため修正しております。

< 連結業績の見通し >

(第2四半期連結累計期間)

売 上 高	1,010億円	前期比△15.0%
営 業 利 益	10億円	前期比△78.6%
経 常 利 益	16億円	前期比△58.4%
四 半 期 純 利 益	△17億円	—

(通期)

売 上 高	2,230億円	前期比 △4.4%
営 業 利 益	52億円	前期比△41.5%
経 常 利 益	62億円	前期比△23.1%
当 期 純 利 益	△9億円	—

為替レートは、通期平均で、1米ドル=81円を前提にしています。

また、本日別途開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」につきましてもご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,402	17,158
受取手形及び売掛金	28,026	28,848
商品及び製品	4,638	4,073
仕掛品	3,416	3,610
原材料及び貯蔵品	14,759	14,574
その他	9,053	8,979
貸倒引当金	△97	△90
流動資産合計	80,200	77,155
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,386	18,041
機械装置及び運搬具(純額)	30,421	31,591
その他(純額)	16,092	15,121
有形固定資産合計	63,899	64,754
無形固定資産		
のれん	633	2,273
その他	98	101
無形固定資産合計	732	2,375
投資その他の資産		
投資有価証券	10,581	10,582
その他	2,943	3,395
貸倒引当金	△16	△16
投資その他の資産合計	13,508	13,961
固定資産合計	78,140	81,091
資産合計	158,340	158,246

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,077	21,585
短期借入金	16,158	12,812
未払金及び未払費用	7,130	6,986
未払法人税等	1,001	1,445
製品保証引当金	1,244	1,426
賞与引当金	2,701	1,204
関係会社整理損失引当金	28	28
その他	2,727	3,344
流動負債合計	56,069	48,834
固定負債		
長期借入金	8,851	13,760
製品保証引当金	1,034	1,046
退職給付引当金	5,261	5,469
役員退職慰労引当金	354	270
その他	4,016	4,159
固定負債合計	19,517	24,707
負債合計	75,586	73,541
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,698	12,698
資本剰余金	13,455	13,455
利益剰余金	49,906	49,311
自己株式	△53	△53
株主資本合計	76,008	75,413
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,176	4,115
為替換算調整勘定	△12,364	△11,422
その他の包括利益累計額合計	△8,187	△7,307
少数株主持分	14,933	16,598
純資産合計	82,753	84,705
負債純資産合計	158,340	158,246

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	60,172	48,540
売上原価	52,246	42,917
売上総利益	7,925	5,623
販売費及び一般管理費	5,637	5,005
営業利益	2,287	618
営業外収益		
受取利息	101	178
受取配当金	35	43
持分法による投資利益	106	127
為替差益	—	91
補助金収入	388	157
その他	65	46
営業外収益合計	696	644
営業外費用		
支払利息	203	183
為替差損	160	—
その他	19	33
営業外費用合計	383	217
経常利益	2,601	1,045
特別利益		
固定資産売却益	3	3
段階取得に係る差益	—	61
特別利益合計	3	65
特別損失		
固定資産売却損	41	0
固定資産廃棄損	104	21
減損損失	8	21
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	68	—
特別損失合計	223	42
税金等調整前四半期純利益	2,380	1,068
法人税等	822	802
少数株主損益調整前四半期純利益	1,558	266
少数株主利益	756	845
四半期純利益又は四半期純損失(△)	801	△579

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,558	266
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△1,069	△61
繰延ヘッジ損益	16	—
為替換算調整勘定	919	1,405
持分法適用会社に対する持分相当額	86	78
その他の包括利益合計	△47	1,422
四半期包括利益	1,510	1,688
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	448	301
少数株主に係る四半期包括利益	1,061	1,386

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	日本	北米	南米	アジア	中国	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	23,856	13,929	5,002	9,931	5,315	58,034	2,138	60,172	—	60,172
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8,207	148	—	115	857	9,328	5	9,333	△9,333	—
計	32,063	14,077	5,002	10,046	6,172	67,363	2,143	69,506	△9,333	60,172
セグメント利益 又は損失(△)	299	36	154	1,664	692	2,847	△320	2,526	△238	2,287

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	日本	北米	南米	アジア	中国	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	13,840	11,346	5,539	11,189	5,255	47,171	1,369	48,540	—	48,540
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8,199	126	—	82	900	9,308	0	9,308	△9,308	—
計	22,039	11,472	5,539	11,272	6,156	56,480	1,369	57,849	△9,308	48,540
セグメント利益 又は損失(△)	△1,505	△70	231	1,810	433	899	△70	829	△211	618

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去及びセグメント間未実現利益消去等です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「アジア」セグメントにおいて、当第1四半期連結累計期間にマシノ・オートパーツ・カンパニー・リミテッド(ベトナム)の出資金を追加取得し子会社化しました。取得原価の配分が完了していないため、暫定的な金額ですが、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては、412,581百万ベトナムドン(1,650百万円)です。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

(7) 企業結合等に関する注記

当第1四半期連結会計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

取得による企業結合

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 マシノ・オートパーツ・カンパニー・リミテッド

事業の内容 二輪・四輪輸送機器用部品の製造・販売

(2) 企業結合を行った主な理由

マシノ・オートパーツ・カンパニー・リミテッドは、ホンダ・ベトナム・カンパニー・リミテッド向けの部品供給を目的に複数の日系企業及び現地パートナーとの合併で複数の事業を開始しましたが、現在の事業内容は当社の事業部分のみとなっています。今後の会社運営をするにあたり、事業の内容に沿った資本構成・経営体制にすることにより機動的な経営を行い、同社の更なる発展が期待できることから、当社が各出資者より出資金の一部を取得し、同社を子会社化することとしました。

(3) 企業結合日

平成23年5月1日

(4) 企業結合の法的形式

出資金の取得

(5) 取得した議決権比率

企業結合日前に所有していた議決権比率 10%

企業結合日に追加取得した議決権比率 60%

取得後の議決権比率 70%

(6) 取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価とする出資持分を追加取得したためです。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

マシノ・オートパーツ・カンパニー・リミテッドの業績は、当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含めていません。

3. 被取得企業の取得原価及びその内訳

企業結合日前に所有していた出資持分の企業結合日における時価	33,541百万ベトナムドン	(134百万円)
追加取得した出資持分(現金)	599,154百万ベトナムドン	(2,396百万円)
取得原価	632,695百万ベトナムドン	(2,530百万円)

4. 被取得企業の取得原価と取得するに至った取引ごとの取得原価の合計額との差額

61百万円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん金額

412,581百万ベトナムドン (1,650百万円)

(2) 発生原因

被取得企業に係る当社の持分額と取得原価の差額により発生したものです。

(3) 償却方法及び償却期間

20年間にわたる均等償却

(4) のれん金額は、当第1四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的な金額です。